

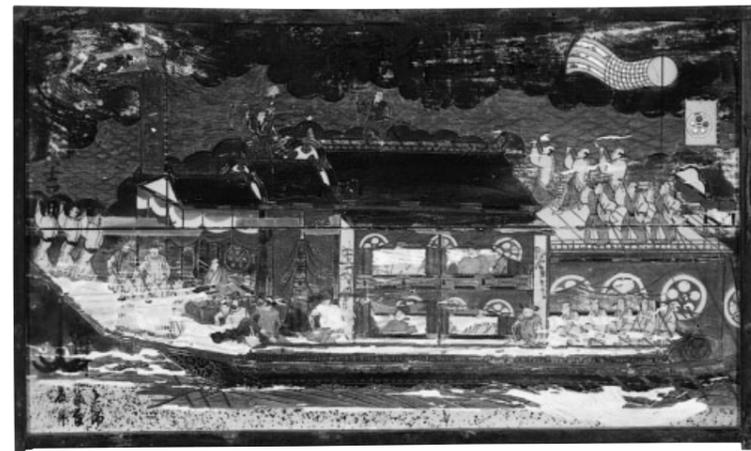
江戸時代朝鮮通信使 訪日400周年 -前編-

江戸時代に12回渡日した朝鮮通信使は、日本国と朝鮮国が対等の関係で、信を通わした使節団です。その使節団は、朝鮮侵略を命じた豊臣秀吉が死去し、翌年に豊臣軍が完全撤退した慶長3（1598）年からわずか9年後の慶長12（1607）年に派遣されました。この派遣から今年で400年を迎えます。

【朝鮮通信使の再開】
朝鮮通信使再開のきっかけをつくり、瀬戸内市と密陽市が友好交流協定を締結する理由となった松雲大師（四溟堂）【瀬戸内発見伝・巻の二十三参照】が朝鮮国王に日本の国情を報告した後、朝鮮国から国交回復の条件が日本国に提示されました。その提示された条件

を達成するために朝鮮国に一番近い対馬藩が奔走し、条件を達成させ、ようやく使節団の派遣が決定します。しかし、派遣される使節団の名称は「通信使」ではなく「回答兼刷還使」というものでした。

この名称は、日本の將軍からの国書に対する朝鮮国王の返答の国書を運ぶ目的「回答」と、先の戦争で日本に連れて来られた朝鮮人を本国へ連れ戻す目的「刷還」から名付けられたものです。この名称の使節団は、計3回派遣されることになり、正式に通信使となるのは、



若宮八幡宮絵馬「朝鮮通信使船図」

寛永13（1636）年の第4回の派遣からになります。が、すべてを含めて朝鮮通信使と呼んでいます。

【朝鮮通信使の行程】
使節団は、対馬藩の先導で釜山から船で対馬、壱岐を経由し、瀬戸内海に入ります。瀬戸内海では、赤間

関（下関）や鞆（福山市）、牛窓、兵庫などに寄港しながら大坂まで進みます。大坂からは船を川船に乗り換え淀川を上り淀まで進むと、そこからは陸路を進み江戸へ向かいます。帰路はこの逆の道順をたどることになります。

瀬戸内海の寄港地として指定された牛窓港は、江戸時代に岡山藩の接待をする港として整備され、通信使が計11回（第12回は対馬での応接のため瀬戸内海まで来ず）寄港し、そのうち9回は上陸して宿泊しました。大勢の人を受け入れるため、牛窓村では、本蓮寺下辺りから燈籠堂までの間の民家が借り上げられ、通信使一行や警護の者などがそれぞれに宿を割り当てられました。通信使の代表であった正使は、はじめは本蓮寺を宿舎として使用していましたが、御茶屋が整備された後は御茶屋が宿舎として割り当てられました。

基礎代謝を高め元気な体づくり

「ダンベル体操」

長船町公民館のボランティニア室から「1、2、3、4」と元気な掛け声が聞こえてきます。「ダンベル体操」の皆さんが、『ふらり 瀬戸内 いいきもち』の音楽に合わせて、リズムよく準備体操。屈伸し関節を動かしたり、足の指の運動をしたりと念入りにストレッチを行います。



いつまでも元気な体で過ごすために頑張りましょう

準備体操の後は、1キロ程度のダンベルを持ち、しっかりと呼吸しながら動きます。体操にはいろいろな動きがあり、みんなで掛け声を掛けながら、ダンベルを上げたり下ろしたり。皆さん、

体がとても柔らかく、スムーズに体を動かします。「ダンベル体操を始めて、体が柔らかく軽くなった」「風邪を引きにくくなった」と感想を話す会員の皆さん。体の代謝を良くする有酸素運動のダンベル体操で、あなたも、いつまでも元気な体を目指し、健康づくりしませんか？

★活動日時 土曜日 午前10～11時

★活動場所 長船町公民館

★会費 月1、500円

★連絡先 佐藤さん

☎0869-2615240

最後まであきらめずに 「今城バレーボール スポーツ少年団」

ランニングなどのアップから始まり、サーブ・トス・レシーブ・アタックと基礎を中心とした練習メニューを次々にこなします。

同団のモットーは、「最後まであきらめないこと」。レシーブ練習では、左右に振られたボールに素早く反応し、ボールをつなげようと必死に飛び付きます。最後まであきらめずに、ひたむきにボールを追い掛ける姿がそこにあります。「子ども



みんな仲良しの今城バレーボールスポーツ少年団の皆さん

たちには必ず良いところがある。一つでもできたら、それを伸ばしてやるのが大切」と、指導者の森正利さん。「みんな仲良く楽しんでチームです。できるだけ良い成績を残せるよう頑張りたいです」と、キャプテンの岡満里奈さん（12歳・邑久町向山）は話します。ただ今、団員を募集中です。一緒にバレーボールをしてみませんか？

★活動日時 水曜日・午後4時30分～6時30分、土曜日・午前9時～11時30分

★活動場所 今城小学校体育館

★会費 年4、000円

★連絡先 寺尾祐子さん

☎086194318672

ジャンプ

ステップ

ホップ

このコーナーは、生涯学習に生き生きと取り組む皆さんを紹介し、皆さんも仲間入りしませんか。



呼吸を意識しながらダンベル体操



サーブ練習を入念に繰り返します